

松前の風よ、どこまでも

松前のえ～えとこいっぱい見つけた～い
松前のえ～えとこいっぱい広めた～い
松前のすこ～い人いっぱい知らせた～い

・
・
・

『お～い、松前色の風さ～ん、
私の鼻先と頬にもそっと吹いてくださいな
そして、耳元でもささやいてくださいな
それから、私の視野にも収まって下さいな
そうしたら、それを追い風に、きっと
松前いいとこ見つけ隊が町民の皆様に
逸早く形を整えてご提供しますから・・・』



今年は松前町のイメージソング誕生の年。今こそ松前色の風を皆で共有する時と思っています。8月実施済みの『稲の花咲く農道が繋ぐ親水公園巡りサイクルツアー』。今月実施の『松前町産の野菜と麦使用のランチ・能面と縮緬細工の人、紹介ツアー』は募集中。と一緒に松前色の風を感じてみませんか？

和田 由美子

5/10 史談会研修
松江城前にて



5/20 水防訓練にて
土のう作成中

8/5 仙台視察研修
荒浜小学校前にて



編集後記

今年は非常に強い勢力の台風や豪雨災害も多く発生し、災害の少ないと言われていた本県も甚大な被害を被りました。被災された方の中には、未だ復旧の目途が立たない状態で家屋清掃等のボランティアを必要としている方がいます。これから寒くなる季節になり、皆さんの体調が心配されます。一日も早く復旧されることをお祈り致します。(K・I)

メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。

～会長より一言～



皆様、紅葉の頃いかがお過ごしでしょうか。

自然の美しい日本ですが

天災に人災、何か起こるかわかりません。

個人でも何かの備えをし、ご近所でも情報交換をし、地域で暮らしたいですね。

何かできることを進めていきましょう。

みどり議員も頑張っていますので、よろしく願いいたします。

大西多美子

10/20 内子町観光ガイドツアー
「はんざり」グループメンバーと



藤岡みどりの

ワクワクレポート



第20号

2018.11.15 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会
代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡緑
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳255-1
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131
ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>



『災害銀座のようだった日本列島に、しばし安堵の秋が来てくれる?』

★2018年の台風は日本近海から上陸したものまで数えると、ここ数年

では最多と言える頻度でやってきて、各地に大きな被害の爪痕を残していきました。

★さらに地球温暖化の影響と言われる海水温度の上昇から湿った雲の塊が次から次へと多くの雨を降らし、河川の氾濫、洪水、地滑り、土砂災害と多くの人的、物的被害をもたらしました。

★県下では西日本豪雨災害として大きく報道され、唯一山を持たないわが町だけが被害のない自治体として挙げられました。またその前後には、北大阪では地震によるブロック塀の倒壊で通学途中の小学生が犠牲となり、それがきっかけで公共物のブロック塀の一斉点検につながりました。北海道でも大きな地震があり、液状化現象の怖さを知りました。

★また6月以降猛暑に見舞われ、全国的な熱中症患者の激増で小・中学校のエアコン設置に弾みがついて、そのための補正予算が閣議決定されました。

★何か犠牲がないと動かない国の姿勢ではありますが、今回は比較的早い措置だったように思います。

★9月定例議会にて松前町の平成29年度一般会計の105億円の決算認定をして、まだ積み残している事業や予定変更になった事業については、今後もしっかり事業終了まで注視していきたいと思います。(議会だより99号参照)

地域の秋祭り 写真・記録係として・・・

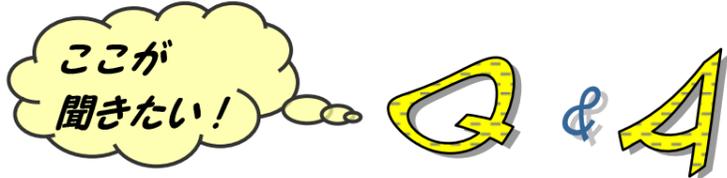
10月15日晴天、朝早くから稲荷神社の神事を終えて勢いよく地域に練り出した子ども神輿と大人神輿。地域の皆さんの五穀豊穡、家内安全を祈願して神主さんの大幣を受け拝礼します。この前後に神輿が入り巡行していきます。

今年は32か所を回り、同時に獅子舞も15か所で奉納し、朝から夕方までお昼の休憩を除いてフル活動。本当にご苦労さまでした。心地よい汗と共に長い1日が終わり、私も足が棒のようになったけど、いい写真や動画が撮れて11月の文化祭で披露できるのが楽しみです。



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで

～みどりの一般質問より～



3月

Q. 新年度の空き家対策は

A. 最終的に町の空き家は246戸で、有効利用を図るため空き家台帳を作成。倒壊や放置空き家への対策計画は、平成30年度末を目標に策定。子育てや高齢者サロンなどの地域コミュニティ活動、交流広場として活用する場合は、改修費を支援する。県の移住者住宅支援事業費補助金制度の活用もできる。



(^o^) 更なる空き家利用に繋がることを期待する

6月

Q. これからの農業に明るい展望は

A. 農業はまちの基幹産業の一つ。ただ就業者の8割が60歳以上という高齢化問題がある。

将来に向けて若手や女性の農業者を積極的に支援していくため平成28、29年度に女性4名を含む若手農業者検討会議を開き、町独自のシールを作って農産物に貼付したり、農繁期の人手不足解消のための人材バンク設置の取組みなどの提案を受けた。新規就農者には国の交付金などを活用し、支援していく。

(^o^) 地道な取組が、いい結果を生み出すものと期待。

9月

Q. 子育て支援には欠かせない保育士確保の対策は

A. 女性就業率の増加に伴い出産・子育て期の早い内から保育所利用で仕事に復帰する人が多くなる一方で、0～2歳児保育が増えて保育士数の確保や設備上の問題も生じている。対策として学校支援員を保育所にも配置できないか検討中だ。

先進地事例を研究し、第二期松前町子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、保育サービスのニーズ調査を行い保育士確保を進めていきたい。

(~o~) これから更なるニーズに対処するには、時間的余裕がない



いろいろありました ～こんなこと、これからも～

＜子育て支援の充実に向けて＞ (文教厚生常任委員会で研修に)

研修目的：保育士確保に向けた取組を学びに～ (8.23～24)

研修先：1、千葉県舟橋市(人口63万人)

2、東京都杉並区(人口57万人)

1と2共に人口、財政規模ともに大きな自治体ではあったが、深刻な待機児童問題などを抱えて、いろんな対策を打ち出しておられた。

保育士の待遇改善として思い切った手当や家賃補助、現場復帰支援事業、保育士養成就学支援事業、保育士キャラバンで『ふなっしー』版パンフ配布、商品券支給、保育士資格取得支援事業など他にも多くの対策が・・・



★まさに学ぶべき点が多く、速やかに出来ることから

取組めるように委員会でまとめていければと考えています。

＜地域の高齢者との触れ合いサロンにて＞

月に1～2回、主に地域の独居高齢者

対象に体操やカラオケ、小物作り、

お食事会など民生委員さんたちが中心

になって色々な企画を立て、ついこも

りがちになるお年寄りの方々に元気に

おしゃべりしてもらう機会を作って、

かなり皆さんには好評のようです。

時々私もお招きいただき、皆さんからパワーをもらってます。

(まさき色の風の歌をみんなで口ずさんだり・・・♪)



防災士として

★西日本豪雨災害後のボランティア活動から

被災地野村町と吉田町に、被災後1週間目、二週間目、約1か月後と、「女性と防災の会」の仲間と共に、主に避難所にて被災者への聞き取りを行いました。「化粧品やいろんなサイズの下着類」などその時々ニーズに対応できるように多くの方々に呼びかけ、具体化できるような活動をしてきました。

わか町にもやって来るかもしれない大災害を念頭に置きながら・・・



7/14 現地視察 災害保険 カード作成を



8/8 吉田町避難所にて

広報研修

鬼北町からも研修に来られた

★少しづつ注目度も上がってきたのか、県内の議会からも「議会だより」編集について研修に来て頂くようになりました。まだまだレベルアップのため勉強中ではありますが、次回12月定例会で創刊100号になります。

☆これからも皆さんの声を反映させ、また議会活動をわかりやすくお伝えしていけるよう努めていきます。(議会広報の編集委員長としての重責をしっかり受け止めて)



★被災後7年経った浪江町の今・・・

東北も暑かった8月3～5日にかけて、福島、宮城と東北大震災後7年の今を、現地の防災士会の方々数名と共に視察研修させて頂きました。

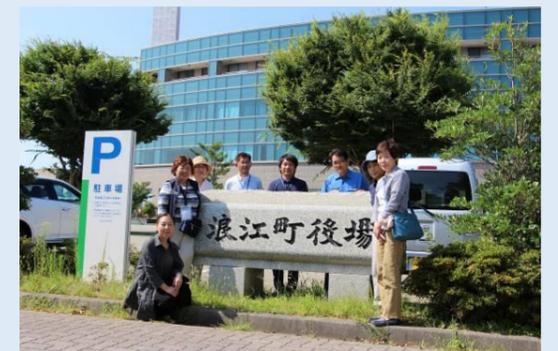
★特に今回初めて原発被災地であり一部帰還解除になった浪江町を、役場職員の吉田さんの案内で廻ることができました。

★被災前は人口2万人の町が、今帰還できるようになっても約800人しか戻っておらず、除染工事関係者を入れても1500人程。特に若い人たちや子どもたちは、風評被害や雇用環境の不整備などで、非常に少ないのが現状です。

車窓から見える、まだ除染が不十分な地域の荒れた家々や田畑、立ち入り禁止のゲートに虚しさを感じつつも、復興に頑張る若い役場職員さんたちに「頑張って」とエールを送り、そこに復興のわずかな光を見た気がしました。

★愛媛県にも伊方原発があります。松前町も約50キロ離れてはいますが、南海トラフ級の地震が来たら他人事ではありません。原発の稼働ある限り、最高の安全対策を・・・

「女性と防災」グループの一員としての活動より



★年4回の定例議会を除く 主な活動

3月 末 ～ 5月	小・中学校卒業式出席
	小・中学校入学式出席
	史談会県外研修
6月 ～ 8月	所属各団体の総会出席
	地区芸能大会(記録係)
9月 ～ 11月初	西日本豪雨災害ボランティア
	町外からの広報研修対応
	文教厚生常任委員会研修
9月 ～ 11月初	防災士セミナー受講
	小・中学校運動会出席
	はんぎり主催 内子町観光
	秋祭り(記録係)
11月初	議会運営委員会研修
	地区文化祭(炊出し活動)